

# 第1学年 社会科学習指導案

指導者 渡邊 宏幸

## 1 単元名 東アジア世界とのかかわりと社会の変動

### 2 単元について

#### (1) 生徒観

平成\*年\*月\*日実施 1年\*組\*人

1. 室町時代について知っていることを書きましょう。  
足利義満が金閣寺、義政が銀閣寺を建てた・・・・・ \*人, 分からない・・・・・ \*人
2. 室町文化について知っていることを書きましょう。  
書院造・・・ \*人, 能・水墨画・華道・茶道・・・・・ \*人, 和風な文化・・・・・ \*人  
北山文化が華やか, 東山文化が質素・・・・・ \*人, 分からない・・・・・ \*人
3. 自分の考えをまとめるのは得意ですか。  
得意・・・ \*人, やや得意・・・・・ \*人, やや苦手・・・・ \*人, 苦手・・・・ \*人
4. グループでの話し合い活動では, 自分の意見をきちんと発表できますか。  
できる・・・ \*人, ややできる・・・・ \*人, ややできない・・ \*人, できない・・ \*人

室町時代の様子として, 足利氏が建てた建造物を挙げている生徒が多く見られる。分からないと答える生徒も多数おり, 生徒たちは室町時代をまだ十分認識できていないと考える。また室町文化についても, 「分からない」と答える生徒が多数おり, 室町文化が現在の日本の生活文化に直接つながっていることに気付いていないことが考えられる。

そこで, 室町時代の学習指導に当たっては, 政治・社会の様子, 産業などの様々な側面の学習の中で, 文化を関連付けるとともに, 意見交流する場を設けて, 歴史的事象に対する理解を深めさせる。また, 友達の意見を参考にしながら, 歴史的事象に対する多面的・多角的な見方・考え方の基礎が培われるようにしていきたい。

#### (2) 教材観

本単元は, 中学校学習指導要領【歴史的分野】の内容(3)中世の日本における「イ 農業などの諸産業の発達, 畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立, 禅宗の文化的な影響などを通して, 武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。」を受けて設定した。室町文化は, 禅宗の影響を受けながら日本全国に広がった文化である。担い手は当時の武士や民衆たちで, 現在の日本の生活文化や年中行事に直接つながった, 多様で豊富な内容をもっている。

#### (3) 指導観

単元の指導に当たっては, 「農業など諸産業の発達」, 「畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立」について, これらは当時の社会の大きな変化であることに着目させ, 技術の進歩によって農業や手工業が著しく発達したことや, それに伴って人々の生活が向上したこと, 商品流通が活発化したことについて扱うようとする。中世の文化の学習に際しては, 新たに生まれた文化の特色を考えさせるようにし, 「現在に結び付くものがみられること」に気付かせる。また意見交換し合う場を設けることで, 歴史的事象に対する理解を深めさせるとともに, 歴史的事象に対する多面的・多角的に考察する力を身に付けさせたい。

## 3 単元の指導目標

- (1) 室町時代に生まれた文化が現代に受け継がれている理由を考える学習に, 意欲的に取り組もうとしている。  
(①社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 自治的な仕組みの発生, 武士や民衆の活力を背景にした新しい文化の誕生といった社会の変化を, 農業や諸産業の発達, 政治の動きなどから多面的・多角的に考察できる。  
(②社会的な思考・判断・表現)
- (3) 武家社会の展開, 経済の発達と社会の変化, 室町文化に関するなどを様々な資料から読み取り, 図表などにまとめることができる。  
(③資料活用の技能)
- (4) 武士や民衆の活力を背景にした新しい文化が生まれたことを理解することができる。  
(④社会的事象についての知識・理解)

## 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
中世の歴史的事象に対する関心を高め, 室町時代の特色を捉える活動に意欲的に取り組もうとしている。	農業など諸産業の発達, 畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立, 禅宗の文化的な影響について多面的・多角的に考察し, その過程や結果を適切に表現している。	農業など諸産業の発達, 畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立, 禅宗の文化的な影響などに関する様々な資料から, 情報を読み取ったり, 図表などにまとめたりしている。	武家社会の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解し, その知識を身に付けています。

## 5 単元の指導計画 (全7時間)

時	学習活動	指導上の留意点(・)と評価規準(△)
1	1 生活の中で「和風」だなど, 感じるものや習い事などを発表し合う。 2 室町時代に生まれた, 文化や建築物などを確認する。 3 単元を通す学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">室町文化が約500年以上たった現在でも受け継がれているのはどうしてだろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室町文化が500年以上たった現在でも受け継がれていることに気付かせ, 室町時代がどんな時代かについて, 班で話し合せ, 今後の学習への見通しをもたせる。</li> </ul> <p>△学習の見通しをもち, 今後の追究への意欲をもつている。 (①観察)</p>

	4 単元シラバスに本時の振り返りをする。	
2	<p>1 本時の学習課題を確認する 元寇を退けたのに、鎌倉幕府が滅亡したのはなぜだろう。</p> <p>2 「御恩」と「奉公」で成り立っていたはずなのに、なぜ御家人は交渉に行かなければならなかつたのかを個人で追究した後、班で説明しあう。</p> <p>3 班で話し合った内容を全体で発表する。</p> <p>4 単元シラバスに本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴルの襲来と日本の対応から、鎌倉幕府が滅亡した理由を考えさせる。</li> </ul> <p>◇モンゴルの襲来が国内の政治に及ぼした影響を、御家人の動きから考察している。 ②(ノート)</p> <p>＜まとめ＞ 鎌倉幕府が滅亡したのは、元寇の後、幕府は御家人に十分な恩賞を与えることができず、御恩と奉公の信頼関係が崩れ、幕府に従わない者が現れたから。</p>
3	<p>1 本時の学習課題を確認する。 足利尊氏は、どのようにして国をまとめたのだろう。</p> <p>2 鎌倉幕府と室町幕府の共通点と相違点について個人で追究した結果を、班で説明しあう。</p> <p>3 班で話し合った内容を全体で発表する。</p> <p>4 単元シラバスに本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建武の新政が2年しか続かなかった理由を資料で確認する。</li> <li>・鎌倉幕府と室町幕府の仕組みを比較して、室町幕府の特徴を捉えることができるようとする。</li> </ul> <p>◇鎌倉幕府と室町幕府の政治の仕組みの相違点や共通点を、資料から読み取っている。 ③(ノート)</p> <p>＜まとめ＞ 足利尊氏は、幕府を京都に置き、守護大名をはじめとする多くの武士を京都に居住させたり、貴族と盛んに接触したりすることで国をまとめた。</p>
4	<p>1 本時の学習課題を確認する。 海外との交易は、社会にどのような影響を与えるだろう。</p> <p>2 東アジア世界との密接なかかわりが国内に及ぼした影響について、個人で追究した結果を、班で説明しあう。</p> <p>3 班で話し合った内容を全体で発表する。</p> <p>4 単元シラバスに本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料で、倭寇・日明貿易についての理解を深める。</li> <li>・幕府が様々な国や地域と関わっていた目的について、資料から読み取らせるようとする。</li> <li>・禅宗に関するキーワードをつなぎ、関連付けることで、食生活が変化したことに気付かせる。</li> </ul> <p>◇室町幕府と東アジア諸国とのにかかわりについて理解している。 ④(ノート)</p> <p>＜まとめ＞ 海外との交易は、貿易により守護大名が力を付けたり、輸出する商品に関連する産業が発展したりした。</p>
5	<p>1 本時の学習課題を確認する。 室町時代の産業の発達は、民衆の生活にどのような変化をもたらしたのだろう。</p> <p>2 農業の発展が、どのように生活に変化をもたらしたかについて個人で追究した結果を、班で説明しあう。</p> <p>3 班で話し合った内容を全体で発表する。</p> <p>4 単元シラバスに本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料で、室町時代の産業についての理解を深める。</li> <li>・惣など、農民の生活に関するキーワードをつなぎ、関連付けることで、民衆の力が付いてきたことに気付かせる。</li> </ul> <p>◇農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③(ノート)</p> <p>＜まとめ＞ 自治的な仕組みが成立し、農業技術や手工業の技術が急激に発達したこと、生産性が上がった。それによって、人々の生活が向上したり、商品の流通が活発になった。</p>
6	<p>1 本時の学習課題を確認する。 応仁の乱によって、室町時代の社会はどう變化していったのだろう。</p> <p>2 町衆がどのように文化を広げていったのかについて個人で追究した結果を、班で説明しあう。</p> <p>3 班で話し合った内容を全体で発表する。</p> <p>4 単元シラバスに本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から応仁の乱による京都の焼失状況を確認し、京都の公家たちはどうしたかのかを考えるようにする。</li> <li>・寄合や御伽草子など、町衆に関するキーワードをつなぎ、関連付けることで、文化が民衆へと広がっていったことに気付かせる。</li> </ul> <p>◇応仁の乱の原因や経過、その後の社会に及ぼした影響について理解している。 ④(ノート)</p> <p>＜まとめ＞ 応仁の乱によって、公家や僧が地方に逃れ、各地に小京都がつくられた。また、惣や寄合など、農民や町衆がそれぞれ力を付けていった。</p>
7 本時	<p>1 本時の学習課題を確認する。 室町文化が約500年以上たった現在でも受け継がれているはどうしてだろう。室町時代の特色から考えよう。</p> <p>2 これまで学習してきた内容を総合し、室町文化が現在でも受け継がれている理由について個人の考えをまとめる。</p> <p>3 個人で追究した結果を班で話し合い、内容を全体で発表する。</p> <p>4 単元シラバスに本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴族・武士・民衆へ広がっていった文化を、全体で確認するとともに、学習の見通しをもたせる。</li> </ul> <p>◇自治的な仕組みの発生、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化の誕生といった社会の変化を、農業をはじめとする諸産業の発達、政治の動きなどから多面的・多角的に考察している。 ②(ワークシート)</p> <p>＜まとめ＞ 京都で作り上げられた室町文化には、大名や武士、庶民が作り上げたそれぞれの文化があった。大名や武士は貿易の影響を受け、東アジアや貴族の文化の影響を受けながら武家文化を成長させていった。また、民衆は産業の発達により豊かになり、自分たちで文化を担うことができるようになった。民衆も楽しむ文化だから受け継がれている。</p>

## 6 本時の指導

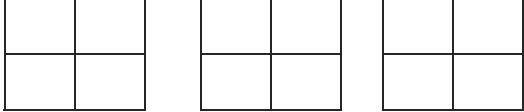
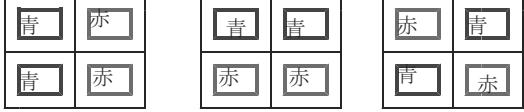
### (1) 本時の目標

自治的な仕組みの発生、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化の誕生といった社会の変化を、農業をはじめとする諸産業の発達、政治の動きなどから多面的・多角的に考察することができる。

② (社会的な思考・判断・表現)

### (2) 準備・資料 ワークシート、掲示物、ホワイトボード、マーカー

### (3) 本時の展開

		学習活動	指導上の留意点（・）及び評価規準◇（評価方法）
つかむ5分	1 本時の学習課題を確認する。  室町文化が約500年以上たった現在でも受け継がれているのはどうしてだろう。室町時代の特色から考えよう。	<政治> ・京都に室町幕府 ・応仁の乱  <海外との関わり> ・各地の守護大名が貿易 ・禅宗や東アジアの文化の影響  <産業> ・物 ・寄合  <社会の様子> ・定期市 ・足利学校	・歴史年表に、室町時代の始まりと現代に印を付け、室町文化が受け継がれている約500年の長さを視覚的に確認する。  ・室町時代の特色について、前時まで学習してきた内容を簡単に振り返る。
考える10分	2 これまで学習してきた、「政治」、「社会の様子」、「産業」、「文化」、「外国とのかかわり」を総合し、室町文化が現在でも受け継がれている理由について個人で考える。		・確認した事象が、どうして文化を広げることにつながったかについて、「なぜ、いろいろな場所に広がったのか」「なぜ、いろいろな人に広がったのか」の視点から考えるよう助言する。
深める20分	3 個人で考えた理由を、班で意見交流する。  4 班の考えをまとめ、ホワイトボードに記入し、全体で発表する。    (1) グループの代表者が発表をし、付け加えや質問があれば発言する。  (2) グループでまとめた内容が、場所に広がった内容なのか、人に広がった内容なのかを、青と赤で色分けする。  		・個人で考えた理由を、班で意見交流することで、自分の意見と他者の意見を関連付けて、新たな考えに気付いたり、考えをより深めることができるようする。  ・班で司会者、タイムキーパー、発表者を決め、話合いがスムーズに行われるよう声かけをする。  ・500年以上たった現在でも文化が受け継がれているのは、理由がたくさんあることに気付かせる。  ・いろいろな場所に広がった内容には青色、いろいろな人に広がった内容には赤色で記述を囲むことを確認させ、個人でまとめたワークシートの内容にも、同じように色分けするよう、声かけをする。 ・いろいろな場所（青）、いろいろな人（赤）の色分けから、受け継がれるためには、場所と人
まとめる10分	5 500年以上たった現在でも受け継がれている理由を、個人でまとめる。  ④室町文化が約500年以上たった現在でも受け継がれているのは、・・・・  <予想される生徒の答え> ・戦乱を避け、多くの公家や僧によって、文化は地方に広まり、民衆の間にも、芸能などの文化が発達したため。 ・交通網の発達で、都の文化が地方にも広がり、また、民衆が経済的にも豊かになり、集団で楽しむ文化が発達したため。		・いろいろな場所（青）といろいろな人（赤）に広がったという内容を、1つずつ選び、組み合わせてまとめる。組み合わせることで、室町文化が受け継がれた理由が書けるようする。  ◇自治的なしきみの発生、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化の誕生といった社会の変化を、農業や諸産業の発達、政治の動きなどから多面的・多角的に考察している。 ② (ワークシート)
振り返る5分	6 本時の学習の振り返りをする。  ・本時の学習を振り返り、自分の考えをシラバスにまとめる。		・自分の考えを振り返り、本時の課題に対して、分かったことをまとめる。